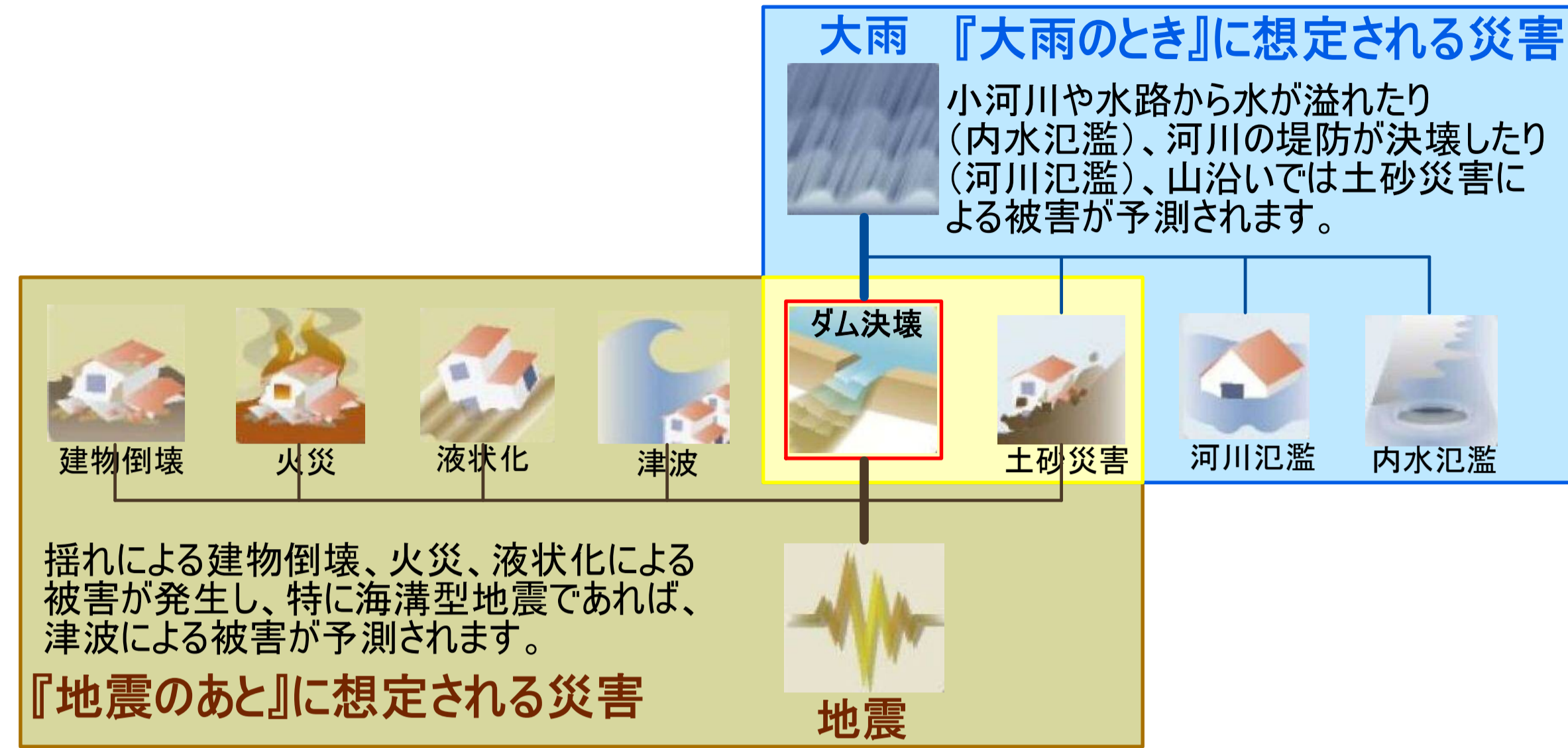


伊佐ノ浦ダムハザードマップ

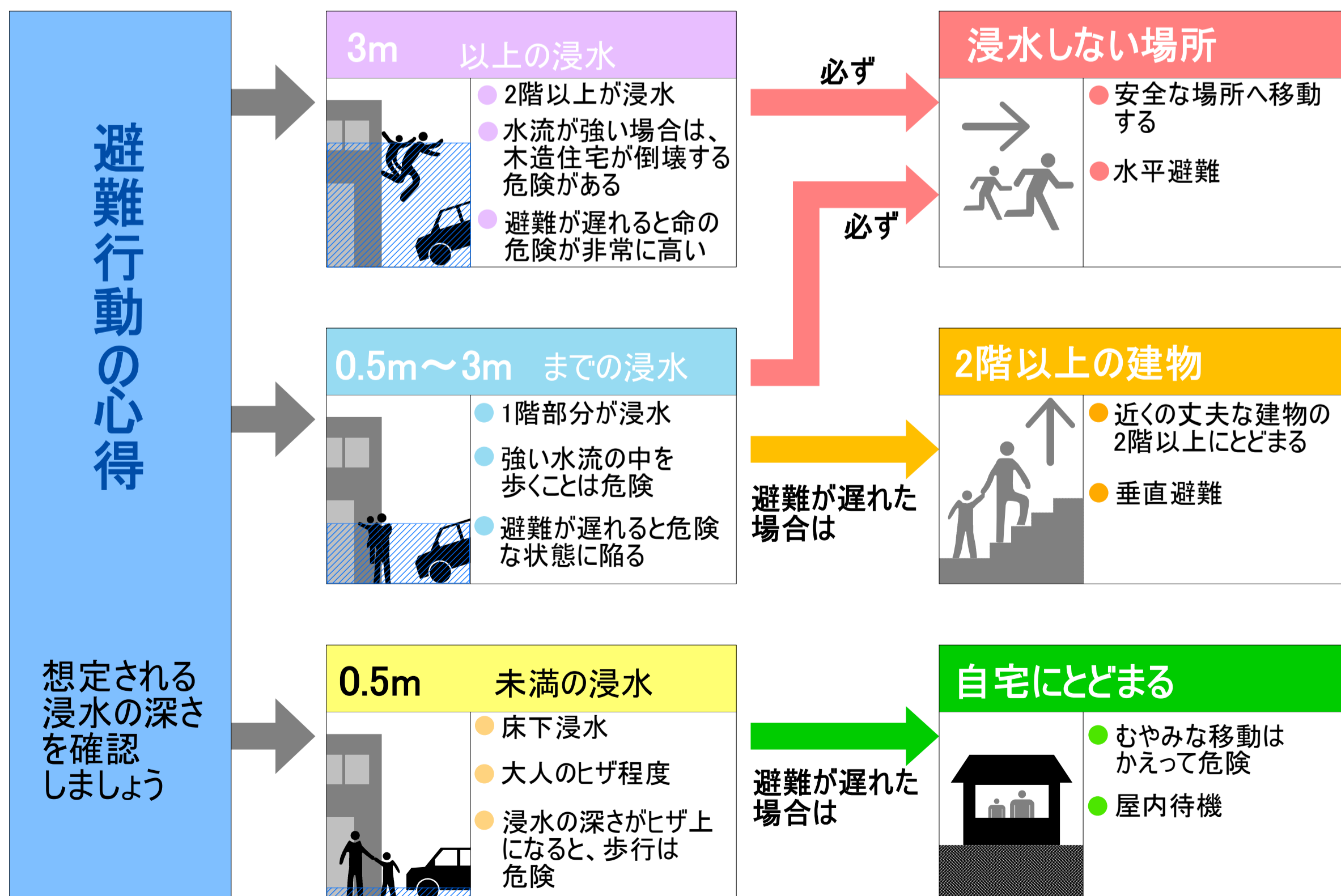
◇災害の状況に応じた避難を考えよう



◇避難情報には、緊急度に応じて3つの種類があります

避難情報の種類	発表の目安
避難準備情報	地域または土地、建物等に災害が発生するおそれがある場合に発表します。特に避難行動に時間を要する方は、避難を開始してください。
避難勧告	地域または土地、建物等に災害が発生するおそれがある場合に発表します。避難してください。
避難指示	状況がさらに悪化し避難すべき時期が差し迫ってきた場合や、災害現場に残っている住民がいる場合に発表します。ただちに避難してください。

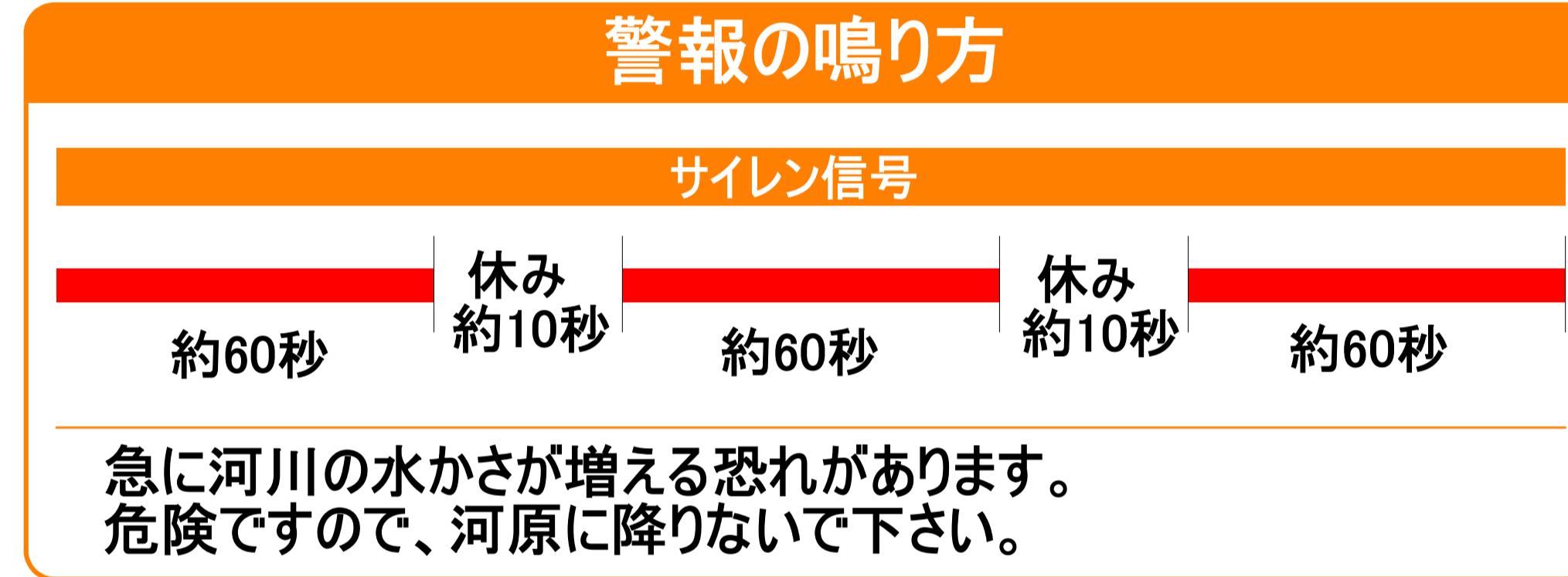
◇避難勧告等がだされたら速やかな避難



◇避難情報は下図のような経路で住民の皆さんに伝達されます



◇ダムの緊急放流警報について



わが家の防災メモ

我家の避難場所：
 家族の避難場所：
 緊急時の連絡先：

家族の名前	生年月日	血液型	電話番号	会社・学校の電話番号

避難時の心得

安全な避難路の確認

避難場所までの経路（避難路）は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

非常持ち出し品の事前準備

避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備してすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

正確な情報収集と自主的避難

ラジオ・テレビで最新の気象情報や災害情報、避難情報に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

避難の呼びかけに注意し速やかな避難

役場や消防団からの呼びかけに注意し、避難勧告が出された場合は、危険が迫っているので、警察などの指示に従い速やかに避難しましょう。

お年寄りなどの避難に協力

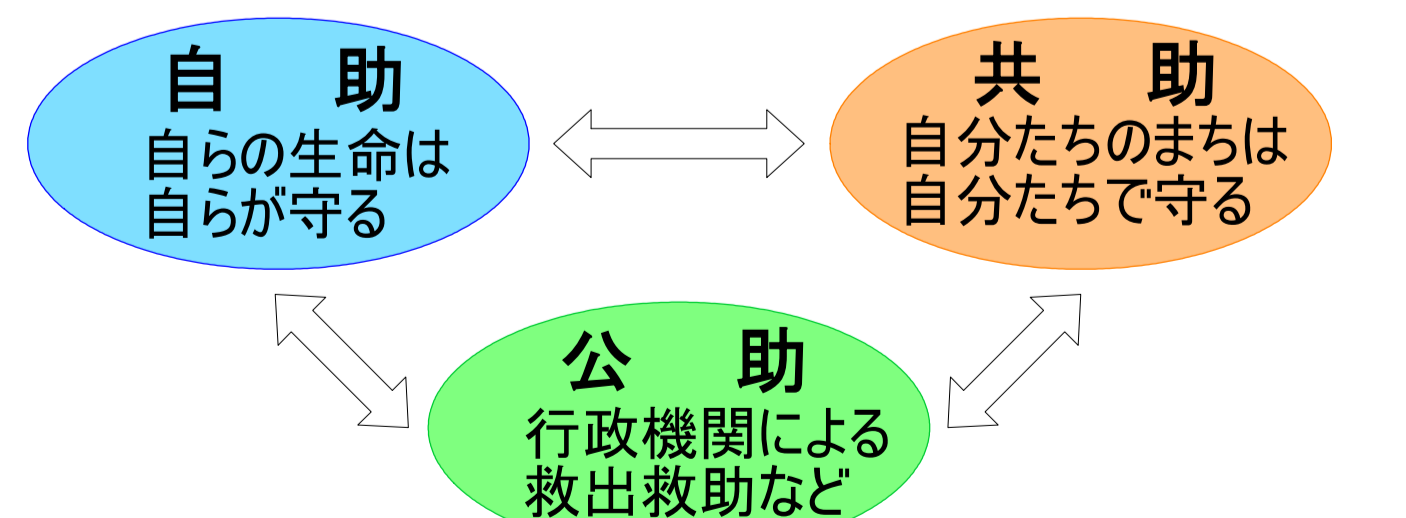
お年寄りや子供、病気の人などは、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。

動きやすい格好、2人以上での避難

避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけましょう。

◇避難三原則

- ① 想定にとらわれるな
⇒自然現象はあらゆる事態がおこる
- ② 最善をつくせ
⇒その状況下で出来る限りの行動を
- ③ 率先避難者たれ
⇒集団心理が多くの人を救う



それぞれが、災害対応力を高め、連携することが重要